

第62回日本弁護士連合会人権擁護大会 (in 徳島)  
第3分科会 プレシンポジウム

# 「死刑制度を考える」

## 第一部 無料映画上映会

(13時30分～14時40分)

ドキュメンタリー映画  
**望むのは  
死刑ですか**  
考え悩む“世論”

映画の詳細  
は裏面を  
ご覧下さい。

予約不要  
参加無料  
(先着300名)

## 第二部 トークセッション

(15時00分～16時30分)

長塚 洋 氏

望むのは死刑ですか 考え悩む“世論” 監督  
映像ディレクター



藤巻 俊一 弁護士

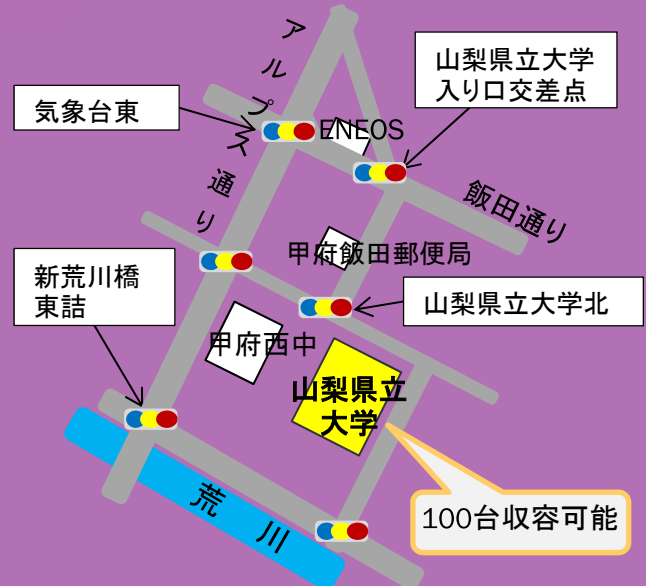
山梨県弁護士会 死刑廃止検討PT 副座長  
死刑廃止及び関連する刑罰制度改革実現本部 委員  
(日本弁護士連合会)

日時: 2019年9月14日(土)

13:30～16:30(13:00開場)

場所: 山梨県立大学 飯田キャンパスB館講堂  
(甲府市飯田5-11-1)

※**駐車場**は県立大学**グラウンド**をご利用下さい。  
(ご利用可能時間 13:10～16:45 駐車台数 約100台)



主催: 山梨県弁護士会

共催: 日本弁護士連合会

関東弁護士会連合会

お問い合わせ先 ⇒ 山梨県弁護士会  
055-235-7202  
(当日は繋がりにません。  
ご了承下さい。)

# 国民の8割が死刑に「賛成」?

それが、日本政府による意識調査の結果だ。「圧倒的多数の支持」を政府は死刑を続ける理由としてきた。だが本当なのか?

死刑の情報提供や議論を、政府は避けてきた。命を奪うこの刑罰を、実は人々はよく知らない。

そんな中、ある研究者によって都内の会場に、一般市民135人が集められた。それは、人々の心をより深く探る「審議型意識調査」の試み。テーマは、日本の刑事制度だ。

2日間の調査ではまず弁護士や専門家、犯罪被害者などから話を聞く。続いて、市民どうしが意見を出し合う。多くが死刑について賛成と言いつつも「考えたことがなかった」という市民たちは、さまざまな反応を示し始める。

死刑に反対する被害者も存在すると知って「死刑支持が揺らいだ」という若者。死刑が犯罪を減らすとは証明できないと知って「もっと苦しい刑罰が必要かも」と言いだす中年男性。冤罪による死刑判決の多発に、とまどう若い女性。

知ることで初めて悩み、自分とまったく違う意見に触れて悩み、当たり前と思っていた考えを揺さぶられる”世論”の担い手たちを、カメラは捉え続ける。

答えの出ない議論のなかで、“普通の人々”の意識に何が起きるのか?混とんから立ち現れる”世論”のほんとうの顔とは…。

市民が自ら考え悩むことの意味を、映像は問いかける。



誰かを「死刑」したのは、  
あなたなのかい?

ドキュメンタリー映画

## 望むのは 死刑ですか 考え悩む“世論”

企画●佐藤舞 / ホールペーパー  
監督●長塚洋  
制作●Institute for Criminal Policy Research (イギリス)  
助成●スイス外務省ほか  
2015 / HD / 59分  
<http://nozomu-shikei.wix.com/movie>



「罪」と「罰」をめぐる、究極の議論が始まる。

知って、揺らぐ。語り合って、悩む。

### ~ INTRODUCTION ~



#### 長塚 洋 (ながつか よう)

映像ディレクター、映画監督。2005年よりフリーランス。東京都在住。テレビの現場に長年身を置き、オウム事件の時期は広く事件報道に取り組んでいた。近年は社会的な弱者に焦点を当てたドキュメンタリーを多く手がける。2017年には「生き直したい〜服役11回 更生の支え」を大阪ABCテレビで放送、坂田記念ジャーナリズム賞を受賞。「望むのは死刑…」の上映とトークは、これまでに国内30カ所以上で展開。